



# ギャラクシー・エンターテインメント・グループ

## 2018年第3四半期監査前主要財務データ

第3四半期のグループの調整後 EBITDA は前年同期比 10%増の 39 億香港ドルを記録

四半期 EBITDA は 11 期連続で成長

発表済みの 1 株あたり 0.50 香港ドルの特別配当を 2018 年 10 月 26 日に実施

【2018 年 10 月 29 日】 - ギャラクシー・エンターテインメント・グループ（略称：GEG、香港証券取引所証券コード：27）は、本日、2018 年 9 月 30 日までの 3 か月の監査前主要財務データを発表しました。（金額は特に明記がない限りすべて香港ドル建て）

### 2018 年第 3 四半期決算のハイライト

**GEG：マイナス要因にもかかわらず、マスゲーミング、VIP および運営力に牽引され、確固たる業績を達成**

- 第 3 四半期のグループの純売上高\*は 130 億香港ドル（前年同期比 6%増、前四半期比 7%減）
- 第 3 四半期のグループの調整後 EBITDA は 39 億香港ドル（前年同期比 10%増、前四半期比 10%減）
- マイナス要因により第 3 四半期の調整後 EBITDA は約 3 億 3200 万香港ドル減少  
第 3 四半期の平準化調整後 EBITDA は 42 億香港ドル（前年同期比 16%増、前四半期比 6%減）
- 直近 12 か月の調整後 EBITDA は 167 億香港ドル（前年同期比 29%増、前四半期比 2%増）

**ギャラクシー・マカオ：マイナス要因にもかかわらず、継続して堅実な業績を達成**

- 第 3 四半期の純売上高\*は 93 億香港ドル（前年同期比 7%増、前四半期比 6%減）
- 第 3 四半期の調整後 EBITDA は 30 億香港ドル（前年同期比 9%増、前四半期比 8%減）
- マイナス要因により第 3 四半期の調整後 EBITDA は約 3 億 2300 万香港ドル減少  
第 3 四半期の平準化調整後 EBITDA は 33 億香港ドル（前年同期比 14%増、前四半期比 2%増）
- 第 3 四半期の 5 つのホテルの客室稼働率は実質 100%

**スターワールド・マカオ：マスゲーミングに牽引され、継続して安定した業績を維持**

- 第 3 四半期の純売上高\*は 29 億香港ドル（前年同期比 7%増、前四半期比 5%減）
- 第 3 四半期の調整後 EBITDA は 9 億 2700 万香港ドル（前年同期比 16%増、前四半期比 6%減）
- マイナス要因により第 3 四半期の調整後 EBITDA は約 500 万香港ドル減少  
第 3 四半期の平準化調整後 EBITDA は 9 億 3200 万香港ドル（前年同期比 24%増、前四半期比 6%減）
- 第 3 四半期のホテルの客室稼働率は実質 100%

**ブロードウェイ・マカオ：ユニークな家族向けリゾート。マカオの中小企業から強力な協力関係**

- 第 3 四半期の純売上高\*は 1 億 4500 万香港ドル（前年同期比 38%増、前四半期比 11%増）
- 第 3 四半期の調整後 EBITDA は 900 万香港ドル（2017 年第 3 四半期はマイナス 400 万香港ドル、2018 年第 2 四半期は 200 万香港ドル）
- マイナス要因により第 3 四半期の調整後 EBITDA は約 400 万香港ドル減少  
第 3 四半期の平準化調整後 EBITDA は 1300 万香港ドル（2017 年第 3 四半期はマイナス 400 万香港ドル、2018 年第 2 四半期は 400 万香港ドル）
- 第 3 四半期のホテルの客室稼働率は 96%

**バランスシート：健全なバランスシート**

- 現金および流動性のある投資は 433 億香港ドル、ネットキャッシュは 2018 年 9 月 30 日時点で 347 億香港ドル
- 2018 年 9 月 30 日時点での負債は 86 億香港ドル（主に現在の収益管理戦略を反映）
- 発表済みの 1 株あたり 0.50 香港ドルの特別配当を 2018 年 10 月 26 日に実施

**開発に関する最新情報：開発機会を引き続き探索中**

- コタイ地区のギャラクシー・マカオの第 3 および第 4 フェーズの開発は、ノンゲーミング事業の MICE やエンターテインメント、家族向け施設を中心に、一部ゲーミングも含めて進行中
- 横琴島 - マカオの旗艦エンターテインメントリゾートあるギャラクシー・マカオを補完する形で、建物の配置にゆとりを持たせた統合型リゾート開発に向けて計画が進行中



- 国際事業の展開 - 日本を含む海外市場で機会を引き続き探索

\*純売上高は、新しい会計基準に基づいて算出しており、比較率は 2017 年の第 3 四半期と 2018 年の第 2 四半期における修正後の純売上高を超えます。

## GEG 会長レイ・チェ・ウー博士は次のように述べています。

「GEG が 2018 年 9 月 30 日までの 3 か月間に、好業績を収めることができたことをご報告できて喜ばしく思います。詳細をご説明する前に、先月、マカオを襲った超大型の台風 22 号について少し触れさせていただきます。

2018 年 9 月 16 日、マカオは台風 22 号を経験しました。この台風は、昨年 8 月の台風 13 号と同規模の勢力と言われていました。しかし、マカオ政府および GEG スタッフを含めた地域社会による事前対策によって、シグナル 10（シグナルは台風警報を意味し、数字は警戒レベル）が発令された台風 22 号は、被害、負傷者共にはるかに少なく済みしました。

まず、マカオ政府がこの緊急事態に際してリーダーシップを発揮したことに感謝したいと思います。また、住民保護チーム、より広範な地域社会、当社のスタッフとマカオのゲーミング企業の多大な努力にも感謝しています。かなり早期に警報が発令されたため、台風の来襲への準備を間に合わせることができました。GEG を含むゲーミング企業は台風の来襲前後を通して、政府と緊密に協力し、地域社会の復興を支援しました。強力なリーダーシップ、地域社会の積極的な関与と周到な準備のおかげで、台風 22 号の影響を前回の台風よりも大幅に減らすことができました。

競争が厳しさを増すなかで、GEG は、マカオおよび地域全体で新たな施設を開業し、第 3 四半期の調整後 EBITDA が前年同期比 10%増の 39 億香港ドルを記録するなど好業績を達成しました。第 3 四半期は、ゲーミング事業でのマイナス要因により、EBITDA が約 3 億香港ドル減少したことを指摘しなくてはなりません。また、7月のワールドカップと9月の台風もマカオにマイナスの影響をもたらしました。

当社は引き続き、ビジネスの全セグメントに積極的に取り組み、特に、リゾートの売上に注力していきます。GEG の定評ある「ワールドクラス、アジアのおもてなし」というサービス哲学および、他に例のないリゾートコンテンツにより、ホテルの客室稼働率は実質 100%を記録しました。

GEG の財務基盤は、引き続き健全であり、世界的ゲーミング企業の中で最も強靱なバランスシートを誇ります。強いバランスシートと事業運営が生み出す潤沢なキャッシュフローが、特別配当による株主への還元に加えて事業基盤となる開発、国際事業展開計画を可能にしています。これらの開発計画にはコタイ地区の第 3 および第 4 フェーズ、横琴島、日本が含まれます。すでに発表したとおり、2018 年 10 月 26 日には 1 株あたり 0.50 香港ドルの特別配当を実施します。

中国本土では、急速に台頭し、まだ拡大の余地がある中間層があり、そのレジャーおよび旅行に対するニーズが引き続き成長を続けていることから、当社はマカオの長期的展望に自信を持っています。しかし、現在の国際貿易摩擦、金利の上昇および景気の減速が短期的な消費者心理に影響する可能性があることも十分に認識しています。GEG は、世界の観光やレジャーの中心地になるというマカオ政府の構想への支援に注力していく所存です。

私は当社のチームメンバーを非常に誇りに思っており、今期の業績を達成するため、またとりわけ台風に関連して当社の役員チームおよびすべてのスタッフが行った取り組みと努力に、この場を借りて心から感謝の意を表したいと思います。



## マカオ市場の概況

マカオの2018年第3四半期のグロスゲーミングレベニューは717億香港ドルでした（前年同期比10%増、前四半期比では横ばい）。前年同期比で9四半期連続での成長を果たしたことになります。この業績は、超大型台風による悪影響があったにもかかわらず達成しました。

当期、マカオへの旅客数は900万人（前年同期比9%増）で、このうち中国本土からの旅客数の伸び率は13%と増加しています。特に、宿泊客は前年同期比で7%増加し、平均滞在日数は0.1日増の2.27日となりました。

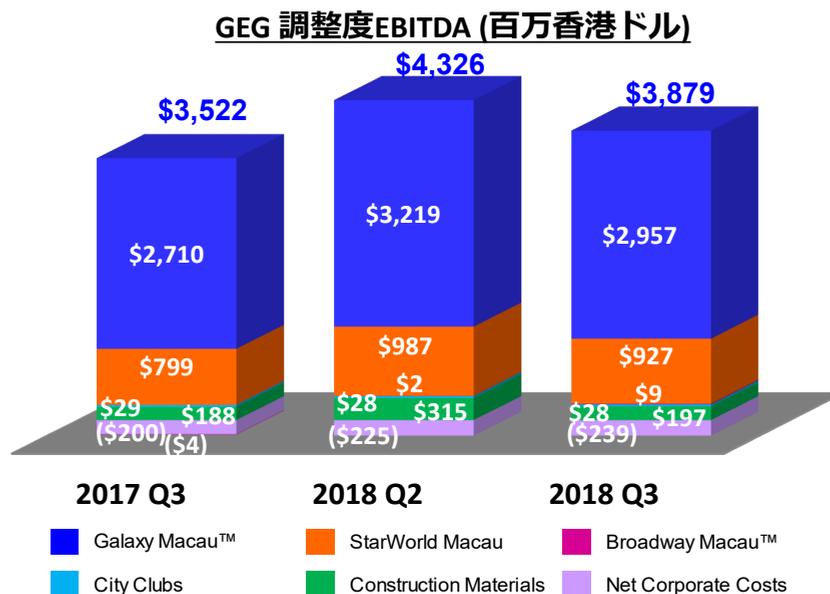
## GEG 決算の状況

### 2018年第3四半期

第3四半期のグループの純売上高は、130億香港ドル（前年同期比6%増、前四半期比7%減）となりました。調整後EBITDAは39億香港ドル（前年同期比10%増、前四半期比10%減）となりました。ギャラクシー・マカオの調整後EBITDAは30億香港ドル（前年同期比9%増、前四半期比8%減）となりました。スターワールド・マカオの調整後EBITDAは9億2700万香港ドル（前年同期比16%増、前四半期比6%減）となりました。ブロードウェイ・マカオの調整後EBITDAは900万香港ドル（2017年第3四半期はマイナス400万香港ドル、2018年第2四半期は200万香港ドル）となりました。

直近12か月のグループの調整後EBITDAは167億香港ドル（前年同期比29%増、前四半期比2%増）となりました。

GEGの2018年第3四半期はゲーミング事業での不運な要因により、調整後EBITDAが約3億3200万香港ドル減少しました。平準化調整後EBITDAは、42億香港ドル（前年同期比16%増、前四半期比6%減）となりました。





グループ全体のグロスゲーミングレベニューは、2018年第3四半期の会計ベース<sup>1</sup>で158億香港ドル（前年同期比6%増、前四半期比8%減）となりました。マステーブルのグロスゲーミングレベニューは66億香港ドル（前年同期比8%増、前四半期比3%減）でした。VIPのグロスゲーミングレベニューは86億香港ドル（前年同期比5%増、前四半期比12%減）でした。電子ゲーミングのグロスゲーミングレベニューは6億香港ドル（前年同期比10%増、前四半期比8%増）でした。

グループ (単位:100万香港ドル)	2017年 第3四半期	2018年 第2四半期	2018年 第3四半期
全純売上高:			
ネットゲーミング	10,292	11,898	<b>11,068</b>
ノンゲーミング	1,262	1,270	<b>1,358</b>
建設資材	680	757	<b>569</b>
全売上高 <sup>2</sup>	12,234	13,925	<b>12,995</b>
調整後 EBITDA	3,522	4,326	<b>3,879</b>
<b>ゲーミングの実績<sup>3</sup></b> (単位:10億香港ドル)			
	2017年 第3四半期	2018年 第2四半期	2018年 第3四半期
ローリングチップ売上高	235.0	289.3	<b>264.5</b>
ウィンレート	3.5%	3.4%	<b>3.3%</b>
勝ち金	8.2	9.8	<b>8.6</b>
マステーブルドロップ	14.9	16.4	<b>16.7</b>
ウィンレート	40.9%	41.8%	<b>39.6%</b>
勝ち金	6.1	6.8	<b>6.6</b>
電子ゲーミング売上高	15.6	18.2	<b>18.2</b>
ウィンレート	3.6%	3.1%	<b>3.4%</b>
勝ち金	0.6	0.6	<b>0.6</b>
全 GGR 勝ち金	14.9	17.2	<b>15.8</b>

<sup>1</sup> 法定総収益と管理基本総収益の主な違いは、シティ・クラブの収益の取扱いであり、手数料収入は法定ベースで報告され、ゲームの総収益は管理ベースで報告されます。グループのレベルでは、ゲームの統計には、企業所有のリゾートとシティ・クラブが含まれています。

<sup>2</sup> 総純売上高は新しい会計基準に基づいて報告され、過去の会計期間の数値は修正しています。

<sup>3</sup> ゲームの統計は手数料と奨励金を差し引く前の値です。



## バランスシートと特別配当

グループのバランスシートは、引き続き流動性を維持し健全です。2018年9月30日の時点で、現金および流動性のある投資が433億香港ドル、ネットキャッシュは347億香港ドルです。同日時点での負債総額は86億香港ドル（2018年6月30日の時点と同額）でした。負債は資金管理を反映したもので、現金資産への利息収入が借入れコストを上回っています。強いバランスシートと事業運営が生み出す潤沢なキャッシュフローが、配当による株主への還元に加えて事業基盤となる開発、国際事業展開計画を可能にしています。すでに発表したとおり、2018年10月26日には1株あたり0.50香港ドルの特別配当を実施します。

## ギャラクシー・マカオ

ギャラクシー・マカオの2018年第3四半期の純売上高は930億香港ドル（前年同期比7%増、前四半期比6%減）となりました。調整後EBITDAは300億香港ドル（前年同期比9%増、前四半期比8%減）でした。調整後EBITDAマージンは香港財務報告基準で32%（2017年第3四半期は31%）となりました。

ゲーミング事業でのマイナス要因により、2018年第3四半期の調整後EBITDAは約3億2300万香港ドルの減少となりました。第3四半期の平準化調整後EBITDAは33億香港ドル（前年同期比14%増、前四半期比2%減）となりました。2018年第3四半期の5つのホテルを合わせた客室稼働率は実質100%でした。

ギャラクシー・マカオ™ (単位：100万香港ドル)	2017年 第3四半期	2018年 第2四半期	2018年 第3四半期
利益:			
ネットゲーミング	7,617	8,869	<b>8,181</b>
ホテル/飲食/その他	857	820	<b>888</b>
ショッピングモール	222	260	<b>268</b>
全純利益 <sup>4</sup>	8,696	9,949	<b>9,337</b>
調整後 EBITDA	2,710	3,219	<b>2,957</b>
EBITDA マージン%	31%	32%	<b>32%</b>
ゲーミングの業績 <sup>5</sup> (単位：100万香港ドル)			
	2017年 第3四半期	2018年 第2四半期	2018年 第3四半期
売上高	164,876	208,506	<b>189,607</b>
ウィンレート	3.6%	3.5%	<b>3.4%</b>
勝ち金	5,854	7,304	<b>6,354</b>

<sup>4</sup> 総純売上高は新しい会計基準に基づいて報告され、過去の会計期間の数値は修正しています。

<sup>5</sup> ゲームの統計は手数料と奨励金を差し引く前の値です。



マステーブルドロップ	9,619	10,390	<b>10,723</b>
ウィンレート	43.3%	44.4%	<b>41.4%</b>
勝ち金	4,169	4,610	<b>4,434</b>
電子ゲーミング売上高	11,708	13,311	<b>13,026</b>
ウィンレート	4.1%	3.6%	<b>4.0%</b>
勝ち金	482	473	<b>527</b>
全 GGR での勝ち金合計	10,505	12,387	<b>11,315</b>

## スターワールド・マカオ

2018 年第 3 四半期のスターワールド・マカオの純売上高は 29 億香港ドル（前年同期比 7%増、前四半期比 5%減）となりました。調整後 EBITDA は 9 億 2700 万香港ドル（前年同期比 16%増、前四半期比 6%減）でした。調整後 EBITDA マージンは香港財務報告基準で 32%に増加（2017 年第 3 四半期は 29%）しました。

ゲーミング事業でのマイナス要因により、2018 年第 3 四半期の調整後 EBITDA は約 500 万香港ドルの減少となりました。平準化調整後 EBITDA は 9 億 3200 万香港ドル（前年同期比 24%増、前四半期比 6%減）でした。第 3 四半期のホテルの客室稼働率は実質 100%となりました。

スターワールド・マカオ (単位:100 万香港ドル)	2017 年 第 3 四半期	2018 年 第 2 四半期	2018 年 第 3 四半期
売上高:			
ネットゲーミング	2,599	2,938	<b>2,794</b>
ホテル/飲食/その他	113	109	<b>110</b>
ショッピングモール	12	13	<b>12</b>
全純利益 <sup>6</sup>	2,724	3,060	<b>2,916</b>
調整後 EBITDA	799	987	<b>927</b>
調整後 EBITDA マージン	29%	32%	<b>32%</b>
ゲーミングの業績 <sup>7</sup> (単位:100 万香港ドル)			
	2017 年 第 3 四半期	2018 年 第 2 四半期	2018 年 第 3 四半期
ローリングチップ売上高	66,891	79,703	<b>73,750</b>
ウィンレート	3.4%	3.0%	<b>3.0%</b>
勝ち金	2,292	2,407	<b>2,191</b>

<sup>6</sup> 総純売上高は新しい会計基準に基づいて報告され、過去の会計期間の数値は修正しています。

<sup>7</sup> ゲームの統計は手数料と奨励金を差し引く前の値です。



マステーブルドロップ	3,569	4,092	<b>4,034</b>
ウィンレート	39.9%	41.6%	<b>41.7%</b>
勝ち金	1,425	1,704	<b>1,680</b>
電子ゲーミング売上	1,570	1,920	<b>1,945</b>
ウィンレート	2.6%	2.4%	<b>2.1%</b>
勝ち金	41	46	<b>41</b>
全 GGR での勝ち金合計	3,758	4,157	<b>3,912</b>

## ブロードウェイ・マカオ

ブロードウェイ・マカオは、マカオの地元中小企業の協力のもと運営し、ストリートエンターテインメントと食事を楽しめる、他に類がないユニークなファミリー向けリゾート施設であることから、VIP ゲーミングを備えていません。2018 年第 3 四半期の純売上高は 1 億 4500 万香港ドル（前年同期比 38% 増、前四半期比 11% 増）となりました。調整後 EBITDA は 900 万香港ドルとなりました。これに対して前年同期はマイナス 400 万香港ドル、2018 年第 2 四半期は 200 万香港ドルでした。

ゲーミング事業でのマイナス要因により、2018 年第 3 四半期の調整後 EBITDA は約 400 万香港ドルの減少となりました。平準化調整後 EBITDA は 1300 万香港ドルとなりました。これに対して、前年同期はマイナス 400 万香港ドル、2018 年第 2 四半期は 400 万香港ドルでした。第 3 四半期のホテルの客室稼働率は 96% となりました。

ブロードウェイ・マカオ™ (単位：100 万香港ドル)	2017 年 第 3 四半期	2018 年 第 2 四半期	2018 年 第 3 四半期
売上高:			
ネットゲーミング	47	63	<b>65</b>
ホテル/飲食/その他	49	58	<b>69</b>
ショッピングモール	9	10	<b>11</b>
全純利益 <sup>8</sup>	105	131	<b>145</b>
調整後 EBITDA	(4)	2	<b>9</b>
調整後 EBITDA マージン	(4)%	2%	<b>6%</b>

<sup>8</sup> 総純売上高は新しい会計基準に基づいて報告され、過去の会計期間の数値は修正しています。



ゲーミングの業績 <sup>9</sup> (単位：100万香港ドル)	2017年 第3四半期	2018年 第2四半期	2018年 第3四半期
マステーブルドロップ	184	223	<b>242</b>
ウィンレート	26.1%	26.2%	<b>25.7%</b>
勝ち金	48	59	<b>62</b>
電子ゲーミング売上	183	516	<b>509</b>
ウィンレート	3.1%	2.4%	<b>2.1%</b>
勝ち金	6	12	<b>11</b>
全 GGR での勝ち金合計	54	71	<b>73</b>

### シティ・クラブ

2018年第3四半期のシティ・クラブの調整後EBITDAは2800万香港ドル（前年同期比3%減、前四半期比は横ばい）とグループの業績に貢献しました。

シティ・クラブ (単位：100万香港ドル)	2017年 第3四半期	2018年 第2四半期	2018年 第3四半期
全純売上高 <sup>10</sup>	29	28	<b>28</b>
調整後 EBITDA	29	28	<b>28</b>
ゲーミングの業績 <sup>11</sup> (単位：100万香港ドル)	2017年 第3四半期	2018年 第2四半期	2018年 第3四半期
ローリングチップ	3,274	1,109	<b>1,134</b>
ウィンレート	2.3%	3.0%	<b>5.2%</b>
勝ち金	76	33	<b>59</b>
マステーブルドロップ	1,570	1,661	<b>1,678</b>
ウィンレート	29.4%	27.9%	<b>25.8%</b>
勝ち金	462	463	<b>432</b>
電子ゲーミング売上	2,177	2,493	<b>2,722</b>
ウィンレート	1.8%	1.7%	<b>1.6%</b>
勝ち金	38	41	<b>42</b>
全 GGR での勝ち金合計	576	537	<b>533</b>

<sup>9</sup> ゲーミングの業績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。

<sup>10</sup> 総純売上高は新しい会計基準に基づいて報告され、過去の会計期間の数値は修正しています。

<sup>11</sup> ゲーミングの実績は手数料と奨励金を差し引く前の値です。



## 建設資材部門

2018年第3四半期の建設資材部門の調整後EBITDAは1億9700万香港ドル（前年同期比5%増、前四半期比37%減）となりました。

## 開発に関する最新情報

ギャラクシー・マカオ - 「次の開発段階」へ

GEGは長期的成長に向けて独自のポジションを確立しています。家族向けや最高級の客室を含む4,500室を有するホテル、40万平方フィートのMICEスペース、16,000人収容の50万平方フィートの多目的アリーナ、飲食店、小売店、カジノなどを中心とする、ギャラクシー・マカオの第3および第4フェーズの計画を継続して進めています。将来の開発計画は改めて発表します。

## 横琴島

横琴島プロジェクトのコンセプトプランが進行中です。横琴島で建物の配置にゆとりを持たせたリゾート開発を進めることは、GEGの旗艦施設ギャラクシー・マカオを補完することとなります。

## 国際事業展開

日本の国会では今年7月20日に、IR実施法案が可決されました。GEGではこのことを非常に歓迎しています。日本は、長期的に見て大きな成長機会があり、当社のマカオおよびその他の国際的な事業展開計画を補完することになるでしょう。モナコ公国のモンテカルロSBMおよび日本のパートナーと共に、ワールドクラスのIRである当社ブランドを日本で展開できることを願っております。

## 2018年の主な受賞

賞	プレゼンター
<b>ギャラクシー・エンターテインメント・グループ</b>	
Asiamoney Asia's Outstanding Companies Poll – Most Outstanding Company in Hong Kong - Consumer Discretionary Sector	Asiamoney
Outstanding Corporate Social Responsibility Award	Mirror Post
<b>ギャラクシー・マカオ™</b>	
Asia's Leading Casino Resort 2018	The 25 <sup>th</sup> World Travel Awards
<b>スターワールド・マカオ</b>	
Selected Restaurant - Feng Wei Ju - Jade De Jardin	Ctrip Gourmet List 2018



## 建設資材部門

Grand Award-Excellence in Environmental Disclosure

Hong Kong ESG Reporting Awards

17<sup>th</sup> Hong Kong OSH Award  
Safety Performance Award - Other Industries

Occupational Safety and Health Council

## 展望

GEG は、引き続き事業の全セグメントに積極的に取り組み、当社の持つリソースを最大限有効に活用できるようにすると同時に、慎重にコスト管理を行ってまいります。当社の哲学は中長期的な視点に立って事業を運営することですが、短期的な影響も常に考慮しています。

当社は、健全なバランスシートにより、特別配当を通じた株主への還元に加えて、地元の開発パイプラインへの資金投入、国際的な事業展開の機会を探求することが可能となっています。これらの事業にはコタイ地区の第3および第4フェーズ、横琴島、日本が含まれます。

中国本土には、レジャー、観光および旅行への莫大な需要があり、GEGはこの需要から利益を得るために有利な立場にあるといえます。高速鉄道網が拡大が続いていること、また、港珠澳大橋の開通により、マカオへのアクセスは一層の改善が見込まれています。これらのインフラ計画は、中国のグレーターベイエリアの統合と共に、マカオの長期的成長を引き続き推進することでしょう。

一方で、当社は、国際貿易摩擦、金利の上昇および為替相場の変動が短期的に影響を与える可能性についても考慮しています。また、引き続き全面禁煙の導入を計画しており、来年早々には改良した喫煙室を追加していきます。

ワールドクラスのリゾートポートフォリオ、健全なバランスシート、マカオの統合リゾート開発パイプラインを持つGEGは、将来に向けて確かな地位を築いています。GEGは、世界の観光やレジャーの中心地になるというマカオ政府の構想への支援に注力していく所存です。

## ギャラクシー・エンターテインメント・グループ（香港証券取引所証券コード：27）

ギャラクシー・エンターテインメント・グループは、世界有数のリゾート、ホスピタリティおよびゲーミング企業です。当グループは、マカオで統合型リゾート、リテール、飲食、ホテル、ゲーミング施設などの開発・運営を幅広く行っています。香港証券取引所に上場しており、ハンセン指数の構成銘柄であり、日経アジア300指数にも選出されています。

GEGは、マカオで最初にゲーミングライセンスを取得した3社のうちの1つであり、革新的で壮たく、数々の賞を受賞した施設、プロダクト、サービスを提供しています。「ワールドクラス、アジアのおもてなし」をサービス哲学の基本としており、マカオ市場でのリーダー的存在です。

GEGは、マカオで3つの旗艦リゾートを展開しています。コタイ地区にあるギャラクシー・マカオ™は世界最大級の統合型リゾートで、隣接するブロードウェイ・マカオ™は、ユニークなランドマークであり、エンターテインメントとフードストリートをテーマとしています。マカオ半島にあるスターワールド・マカオは数々の賞を受賞したプレミアムプロパティといえます。



GEGは、マカオにおけるゲーミングライセンスを保有する会社の中では、最大の未開発用地を所有しています。コタイ地区のギャラクシー・マカオは次の開発段階が完成することで、リゾート、エンターテインメント、MICE施設を備え、総面積は200万平方メートル以上へと倍増し、世界最大級で様々な施設を提供する統合型リゾートとなります。また、マカオに隣接する大横琴島（ヘンチン）の270万平方メートルの土地に世界的レベルのレジャー・レクリエーション・リゾート開発を計画しています。同リゾートは、マカオでのGEGのプロジェクトを補完すると同時に、GEGと他との差別化をはかり、観光とレジャーの国際的な中心地にするというビジョンの下でマカオを支援するものとなります。

GEGは、2015年7月には、モナコ公国において象徴的な高級ホテルやリゾートを所有・運営する、世界的に有名な Société Anonyme des Bains de Mer et du Cercle des Etrangers à Monaco（モンテカルロSBM）と提携し戦略的な投資を行っています。さらに、日本を含む国際プロジェクトの開発機会を引き続き探求しています。

GEGは、お客様に世界レベルかつユニークな体験を提供し、事業を行なっている地域社会への持続可能な未来を築くことに全力を尽くしております。

グループに関する詳しい情報については、[www.galaxyentertainment.com](http://www.galaxyentertainment.com) をご覧ください。

#### 報道関係者 問い合わせ先

ギャラクシー・エンターテインメント・グループ  
担当：高木あゆみ  
Tel: 03-5410-0888  
E-mail: Ayumi.takagi@galaxyentertainment.com

ゴリン・ジャパン  
担当：三ノ上・石井・大坂  
Tel: 080-2280-0044/080-4832-0800/080-2015-0073  
E-mail: yminokami@golin.com/sishii@golin.com/  
Aosaka@golin.com